

10-3 九州南部の地震活動 (2004年5月~2004年10月)

Seismic Activity in the Southern Kyushu District (May, 2004-October, 2004)

鹿児島大学理学部

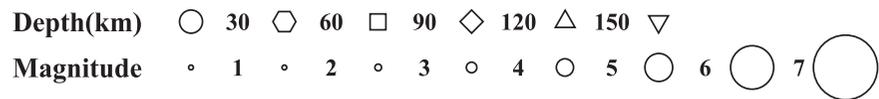
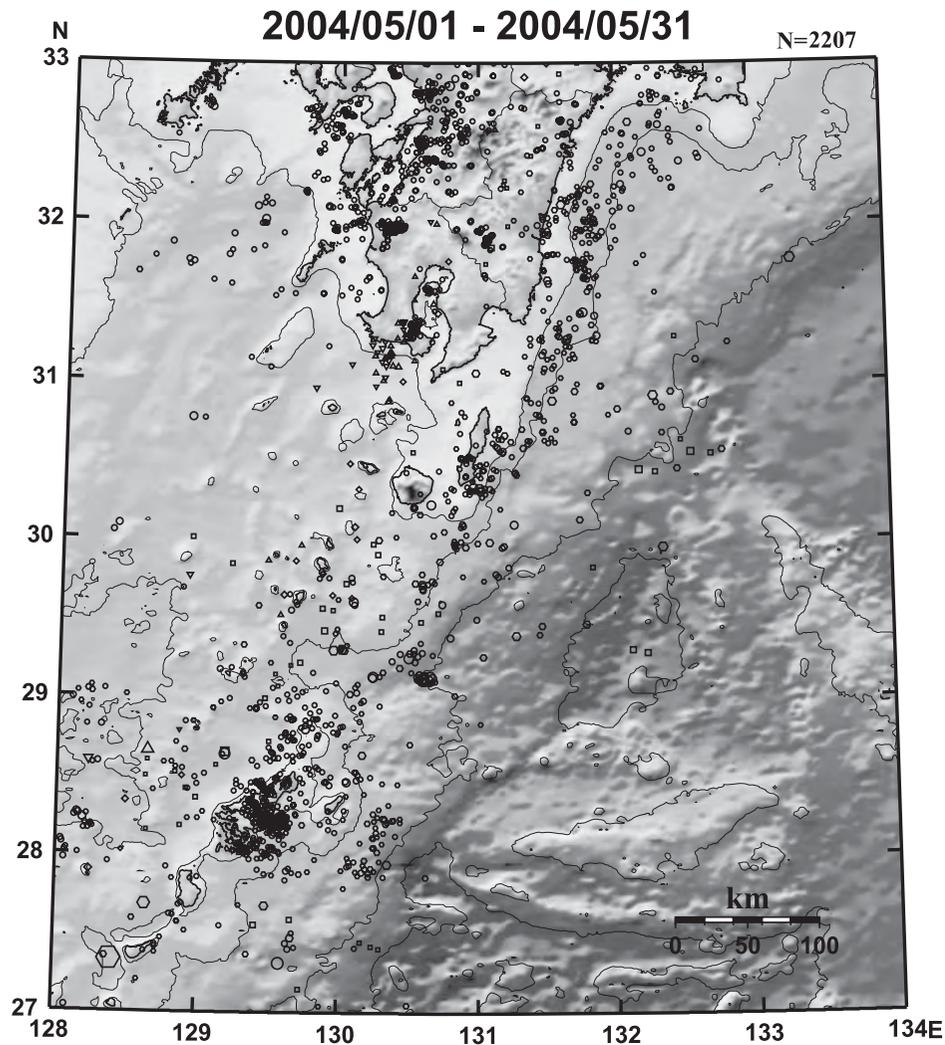
Faculty of Science, Kagoshima University

2004年5月~2004年10月の期間に震源決定された地震の1ヶ月毎の震央分布を第1~6図に示す。また、2004年5月~2004年10月に発生した主な地震のメカニズム解を第7図に示す。

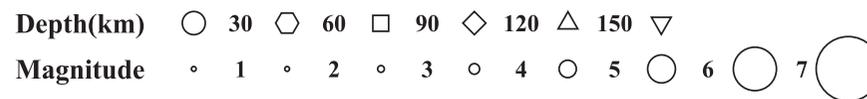
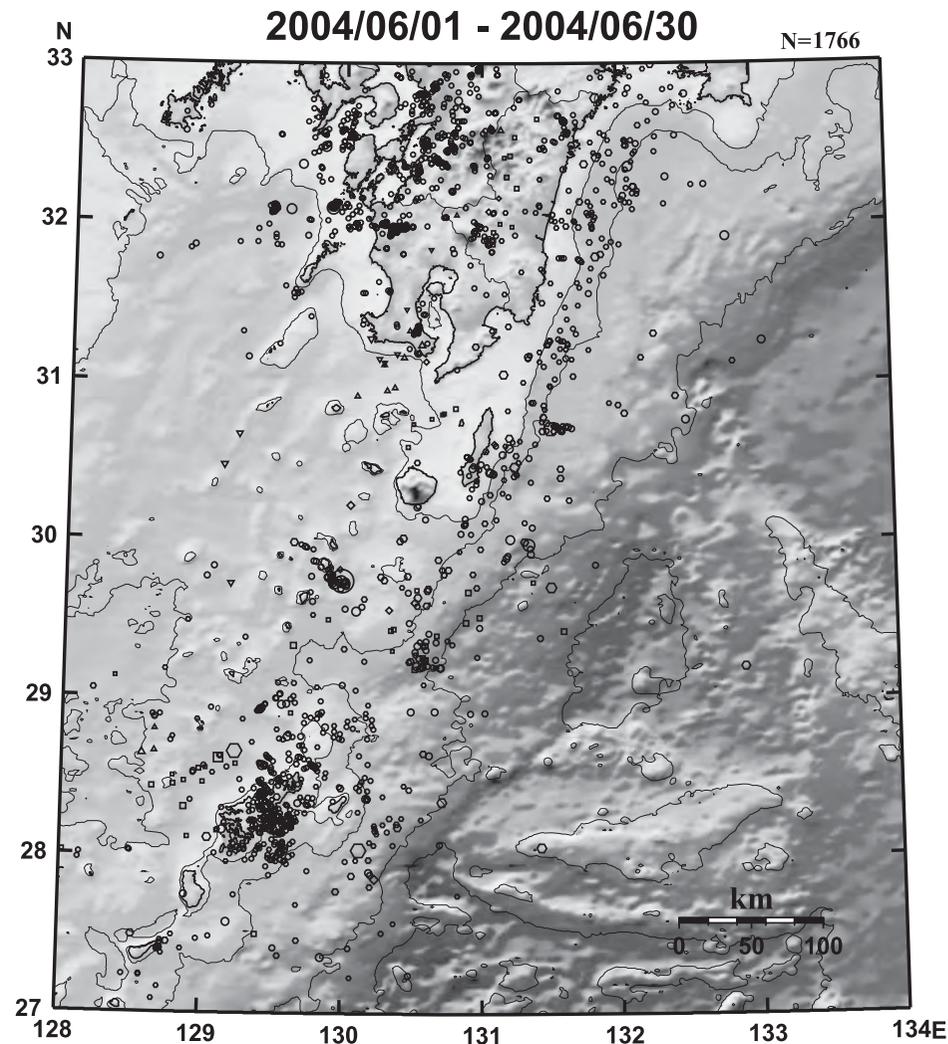
この期間に九州南部-南西諸島北部域に発生したM5.0以上の顕著な地震は、9月1日20時7分に奄美大島の北東約50kmの海域で発生したM5.3の地震、5月20日6時4分に沖永良部島付近で発生したM5.2の地震、6月18日17時21分にトカラ列島中之島付近で発生したM5.1の地震である。その他にM4.5以上の地震は6個発生しており、震源はいずれも種子島以南である。

その他の顕著な地震活動としては、10月1日から奄美大島の西方約100kmの海域で始まった群発活動がある。最大地震は10月3日のM4.7で10月13日には活動はほぼ終息した。地震総数は420個あまりである。また、都井岬の南東約150kmの海域では、9月15日頃から群発活動が始まり、9月24日~10月15日頃に一旦活動度は低下したものの、10月16日には再び活動的になり10月28日ころまで継続した。地震総数は130個あまり、最大地震は9月19日と10月19日のM3.7である。さらに、薩摩半島南東部の喜入町付近では2004年4月21日から始まった群発地震活動が、盛衰を繰り返しながら、9月下旬まで継続した。最大地震は4月25日のM3.1であり、地震総数は650個を超えている。なお、今回の活動域の南に位置する指宿市付近ではこれまでも度々群発地震活動が見られたが、それらは比較的短期間で終息することが多く、今回の活動は例外的に長期化したものであった。

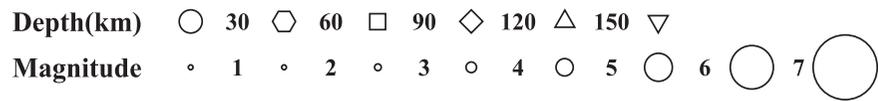
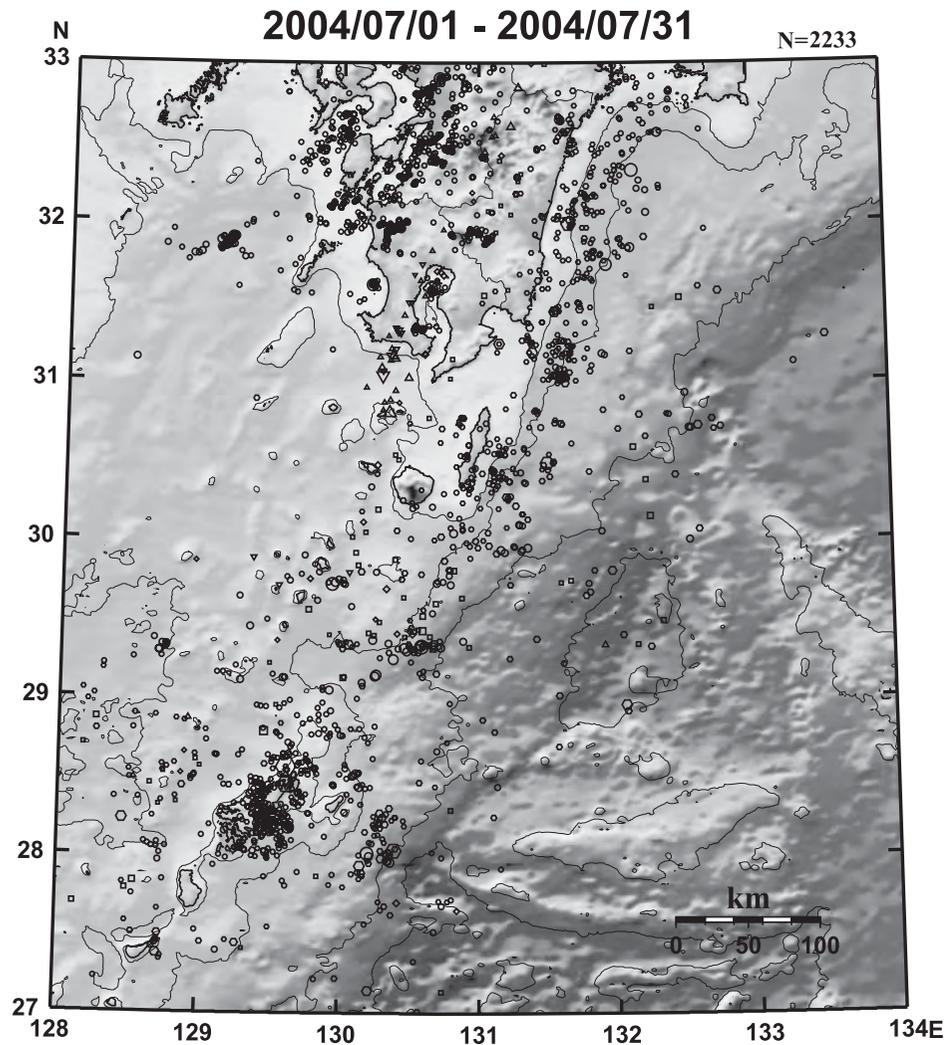
九州南部の内陸部や日向灘のこの期間の地震活動は低調であった。また、1997年鹿児島県北西部地震の余震活動は依然として継続しているものの、活動度はかなり低下しつつある。



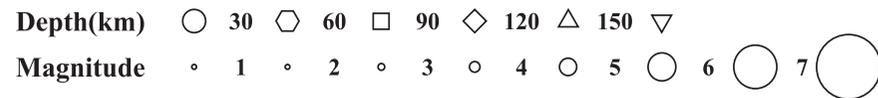
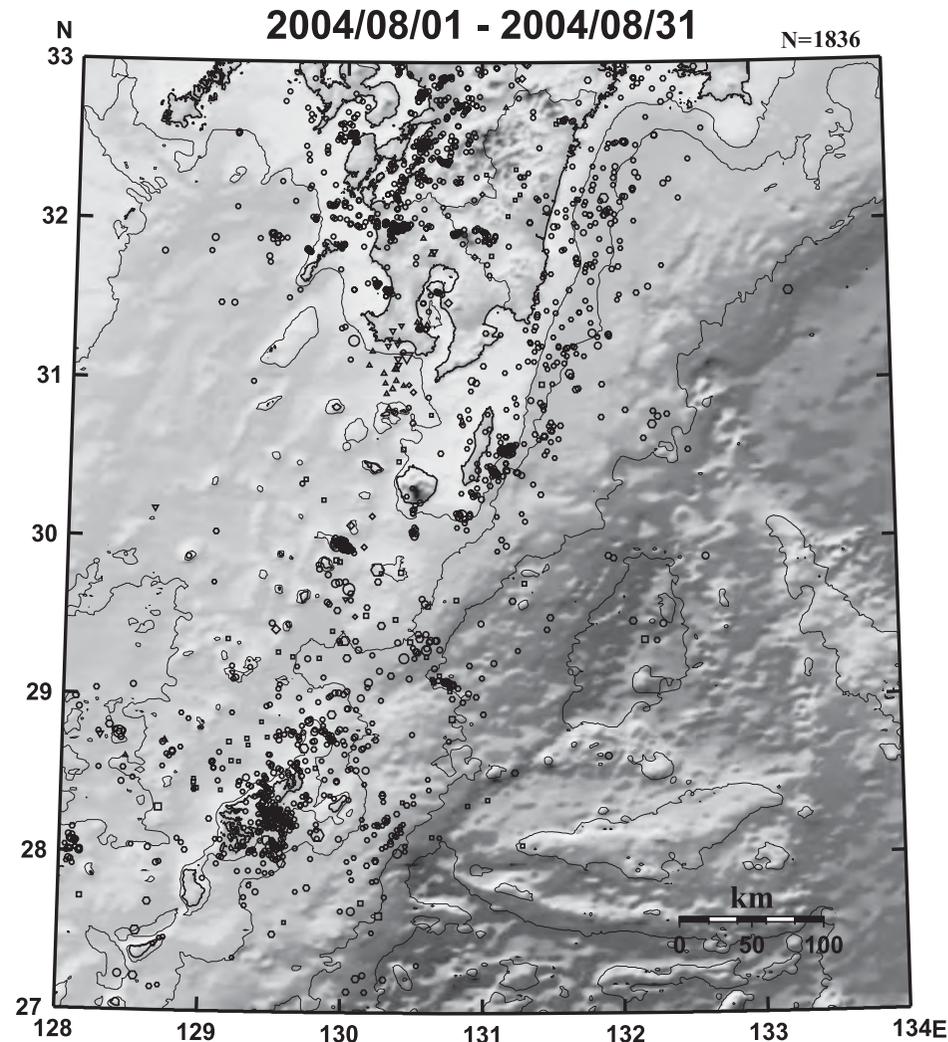
第1図 震央分布 (2004年5月)
Fig.1 Epicentral Distribution (May, 2004).



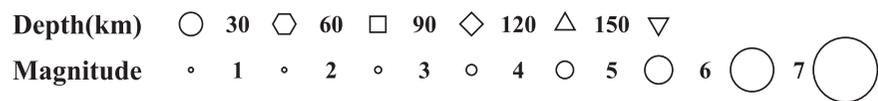
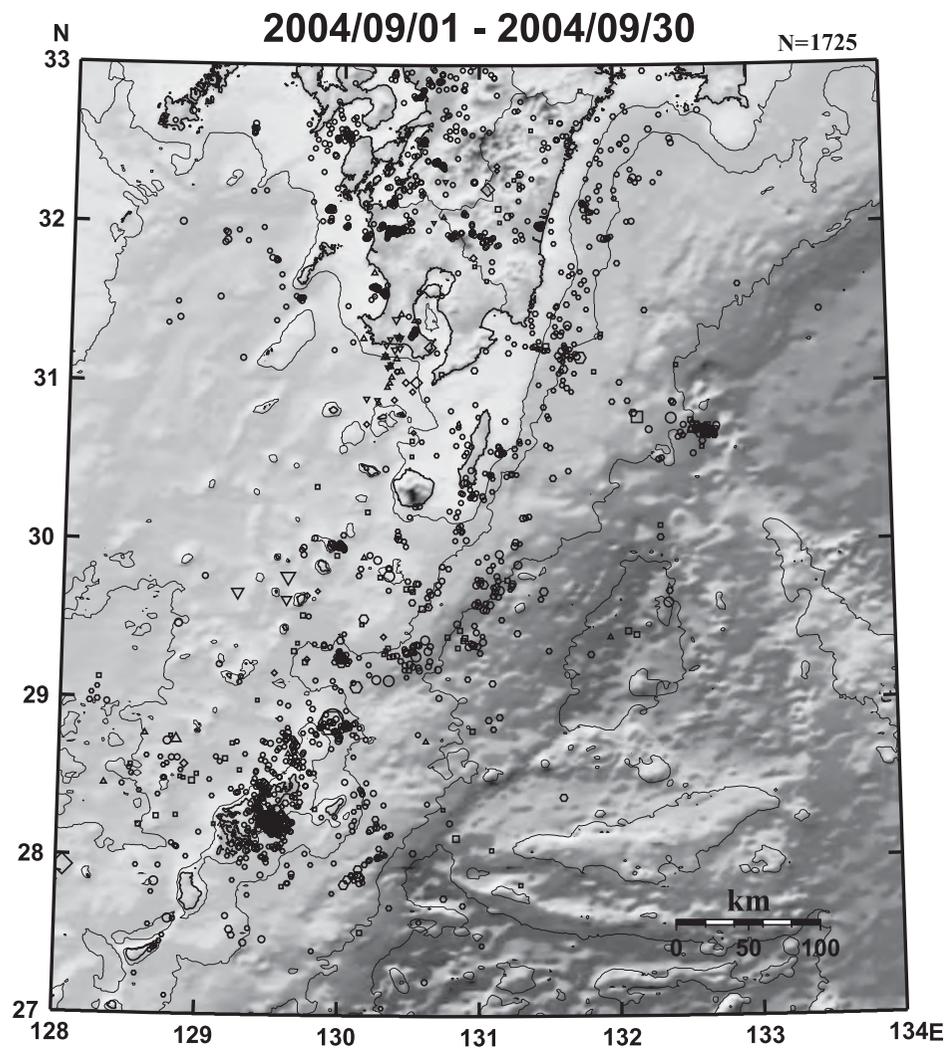
第2図 震央分布 (2004年6月)
Fig.2 Epicentral Distribution (June, 2004).



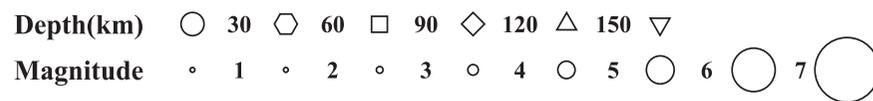
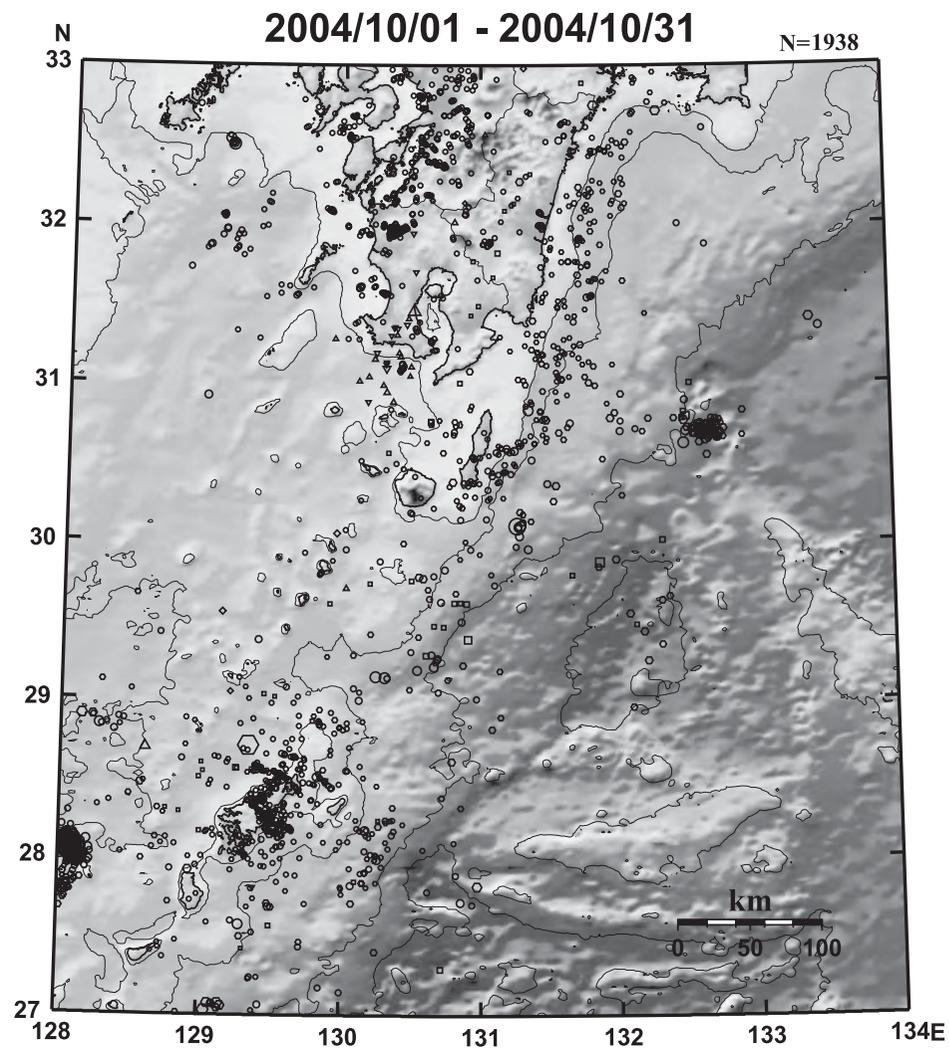
第3图 震央分布 (2004年7月)
Fig.3 Epicentral Distribution (July, 2004).



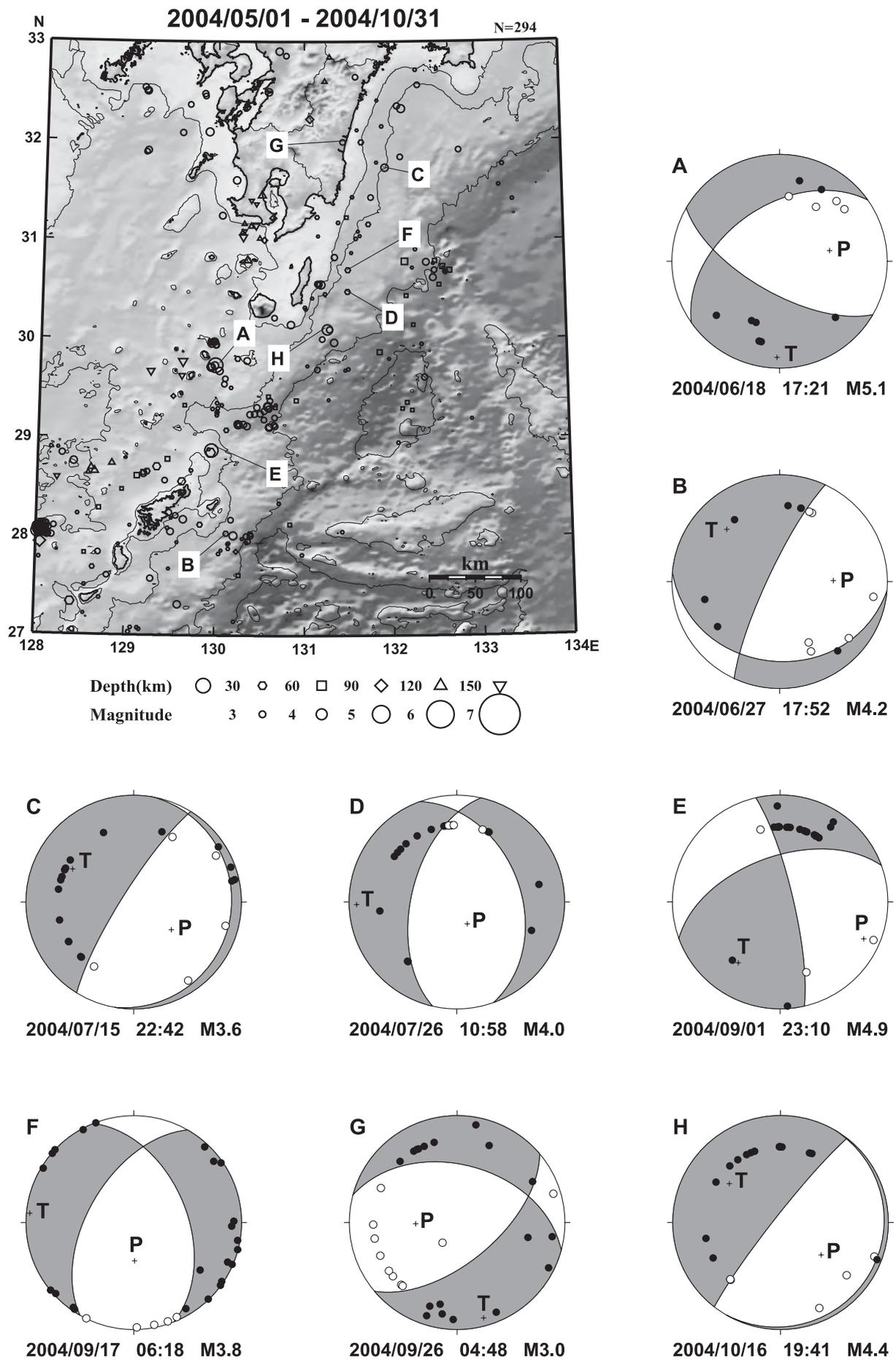
第4图 震央分布 (2004年8月)
Fig.4 Epicentral Distribution (August, 2004).



第5图 震央分布 (2004年9月)
Fig.5 Epicentral Distribution (September, 2004).



第6图 震央分布 (2004年10月)
Fig.6 Epicentral Distribution (October, 2004).



第7図 主な地震のメカニズム解 (2004年5月~2004年10月, 下半球等積投影)

Fig.7 Focal Mechanism Solutions of Major Earthquakes (May, 2004-October, 2004, Equal Area Projection on the Lower Hemisphere).